

重点改革項目Ⅲ 持続可能な財政運営の確立

取組項目(中項目)	3 地方公営企業などの経営改革	No.	54
具体的な取組項目(小項目)	2 病院事業の経営改革の取組強化	担当課	市民病院経営企画課
改革実施項目名称(細項目)	クオリティインディケータの導入による、医療の質の可視化		
現状と課題 (これまでの取組み)	クオリティインディケータとは、病院で行われている医療の質を客観的に評価するための指標である。継続的にこれらの数値を把握して分析・改善を行い、医療の質の向上を図っていくことが重要になっている。		
事業の目標・目的 (考えられる効果)	《計画期間の目標》 医療の質を可視化し、患者さんに有効な情報とより質の高い医療を提供する。		
	《事業の最終目標》 数値を分析し、改善を図ることにより、医療サービスの質の向上を図る。 情報を公開することで患者さんの信頼の獲得が図られ、より一層の改善活動につながる。		
取組の内容	・クオリティインディケータの項目選定と、評価・公開を行う。		

改革実施概要	取組工程 (具体的な内容)	現状 (平成26年度)	平成27年度		平成28年度		中間目標/ 29年度以降
			計画	実績	計画	実績	
		・医療の質を客観的に知ることができる指標を公開している ※以下は26年度見込値	項目の選定と評価、公開	・公開する指標を追加した。 ・前年の指標データを継続して把握し、全国との比較の他、自院の前年との比較も公開した。	項目の選定と評価、公開	・指標の項目選定と公開する指標の追加を行った。 ・継続して指標データを把握し、全国との比較、自院の前年との比較を公開した。	引き続き項目の選定と評価・公開を行う
指標	導入数	57項目	35項目	57項目	40項目	60項目	45項目
	公開数	16項目	35項目	25項目	40項目	49項目	45項目

進捗管理	(各年度10月に実施)		平成27年度		平成28年度		※平成29年度上半期に計画期間の中間評価を実施する。
	取組の状況	上半期 (4～9月)	クオリティインディケータのデータ収集	予定通り進捗	クオリティインディケータのデータ収集	予定通り進捗	

年度評価	(年度終了後に実施)		平成27年度		平成28年度	
	取組工程、指標に対する評価		データが前年比較可能な量になり、分かりやすい指標の公開に努めたが、公開数が目標に達せず。	C	継続して指標データの収集を行い、全国との比較の他、自院の経年変化が比較可能になった。	B
	課題、今後の方針、改善事項など		引き続き継続してデータ収集と数値分析を行い、患者さんにとってより有用な情報をよりわかりやすく公開していく。		引き続きデータ収集・分析を行い、患者さんにとってより有用な情報をよりわかりやすく公開していく。	

計画期間の中間評価	(平成29年度に実施)		中間評価		平成29年度以降
	取組工程、指標に対する評価 (指標の適正性等)		項目の選定、データ収集を継続して行うことにより、全国との比較の他、自院データの前年との比較も可能となり、計画どおり進捗している。患者さんにとってわかりやすく有用な情報を公開した。	B	項目の選定と評価やデータ収集・分析を継続して行い、医療の質の向上を図り、患者さんにとってよりわかりやすい情報の公開を行う。
	課題、今後の方針、改善事項など		引き続き継続してデータ収集・分析を行い、医療の質の向上を図る。また、新たな項目の選定や評価を行い、患者さんに有用な情報をよりわかりやすく公開していく。		

重点改革項目Ⅲ 持続可能な財政運営の確立

取組項目(中項目)	3 地方公営企業などの経営改革	No.	54
具体的な取組項目(小項目)	2 病院事業の経営改革の取組強化	担当課	市民病院経営企画課
改革実施項目名称(細項目)	クオリティインディケータの導入による、医療の質の可視化		
現状と課題 (これまでの取組み)	クオリティインディケータとは、病院で行われている医療の質を客観的に評価するための指標である。継続的にこれらの数値を把握して分析・改善を行い、医療の質の向上を図っていくことが重要になっている。		
事業の目標・目的 (考えられる効果)	≪計画期間の目標≫ 医療の質を可視化し、患者さんに有効な情報とより質の高い医療を提供する。		
	≪事業の最終目標≫ 数値を分析し、改善を図ることにより、医療サービスの質の向上を図る。 情報を公開することで患者さんの信頼の獲得が図られ、より一層の改善活動につながる。		
取組の内容	・クオリティインディケータの項目選定と、評価・公開を行う。		

改革実施概要	取組工程 (具体的な内容)	現状 (平成26年度)	平成29年度		平成30年度		最終目標/ 31年度以降
			計画	実績	計画	実績	
		・医療の質を客観的に知ることができる指標を公開している ※以下は26年度見込値	項目の選定と評価、公開	指標データの収集、把握を継続して行い、全国平均との比較や自院の経年変化の結果を公開した。	項目の選定と評価、公開	指標データの収集を継続し結果を公開した。新規データを収集し公開する項目を追加した。	引き続き項目の選定と評価・公開を行う
指標	導入数	57項目	45項目	65	45項目	75	45項目
	公開数	16項目	45項目	56	45項目	65	45項目

(各年度10月に実施)		平成29年度		平成30年度		
進捗管理	取組の状況	上半期 (4～9月)	データ収集を継続して行い、患者さんにとってより有用で分かりやすい指標公開を準備している。	予定通り 進捗	データ収集を継続して行い、よりわかりやすい指標の公表に向けて様式等を含めて検討している。	予定通り 進捗

(年度終了後に実施)		平成29年度		平成30年度	
年度評価	取組工程、指標に対する評価	データ収集を継続し、全国との比較や自院経年変化を比較できるようになった。	B	継続項目と新規項目を合わせ、分かり易い説明となるよう工夫して公表した。	A
	課題、今後の方針、改善事項など	患者さんにとって、必要な情報をより分かり易く公開する。また、指標データ分析による院内での有効活用を検討していく。		データ収集の継続とデータ精度の向上。患者さんが必要とする公表項目、院内での活用方法の検討を継続していく。	

		計画期間の評価		平成31年度以降
計画期間の評価	取組工程、指標に対する評価 (指標の適正性等)	データ収集の継続とデータの精度向上を図った。公表する項目の追加、見やすい図表や説明コメントの追加などで、患者さんにとって分かり易い情報となるよう工夫した。	B	データ収集、評価・分析を継続。
	課題、今後の方針、改善事項など	データ収集・分析結果を医療の質の改善・向上につなげていく。患者さんが必要とする情報の検討、分かり易い公表の仕方を検討する。		